

第23回月例社会保障研究会

おひとりさまを支える在宅ホスピスケア ～ひとりで家で死ねますか？～

平成26年10月16日(木)18:30～20:30

於：日本プレスセンタービル9階 宴会場

小笠原文雄

医療法人聖徳会 小笠原内科 院長

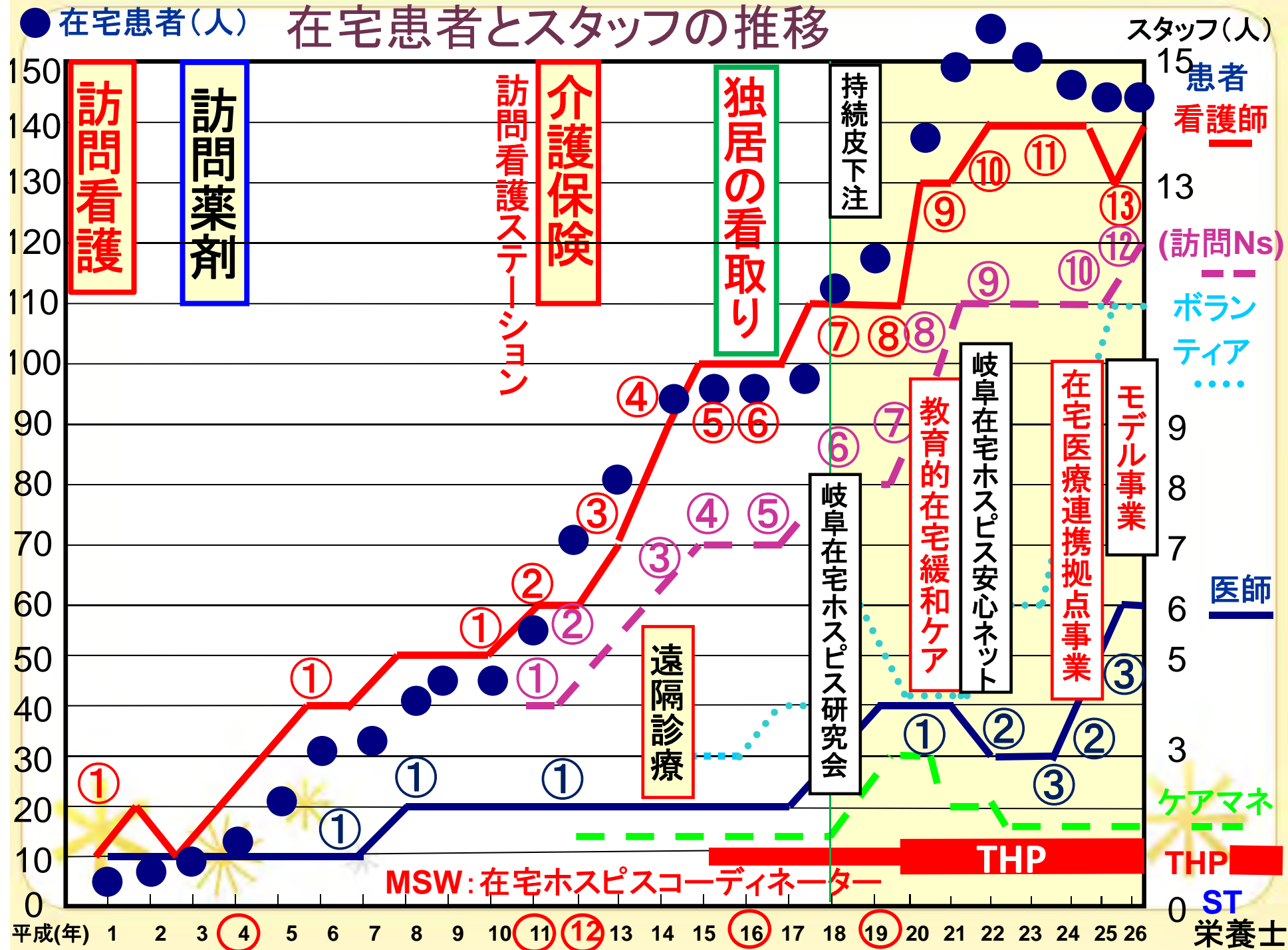
E-mail : b.ogasaw@orion.ocn.ne.jp

URL : <http://www.geocities.jp/ogasawaranaika/>

日本在宅ホスピス協会 会長



在宅患者とスタッフの推移



在宅医療は心不全の血管拡張療法

妻と2人暮らし

75歳 男 虚血性心筋症

心不全で年間3回入院・半年入院。妻も疲れる。

不安

3年 在宅医療(緩和ケア)

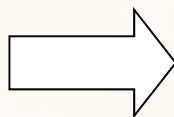
両手を挙げてアクビをする

10年間、好きな物を食べて、入院なし

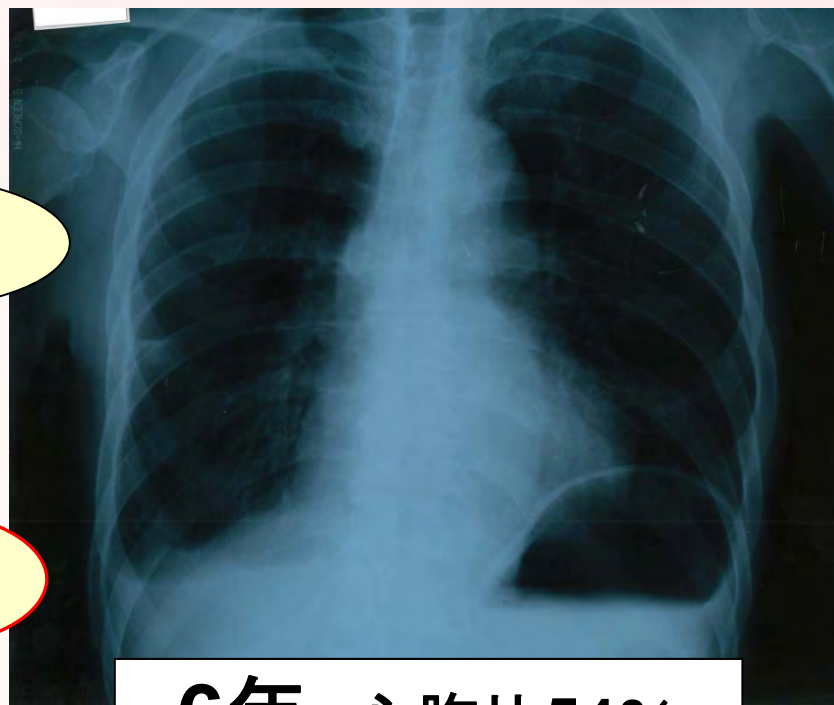


3年 心胸比82%

のんびり



笑顔



6年 心胸比54%

13年 子が入院させたら、死亡。

親の心、子知らず

がんになってうれしくて

孤独死とは

87歳 女 結腸がん

日中独居

12年 2月 腹痛で往診。入院拒否。

3月 イレウス。人工肛門 ⇒ 生きる屍

「1~2ヶ月の命」 『家に帰りたい』

病院で孤独死はイヤ

4月 在宅緩和ケア開始。

笑顔

7月 喫茶店へ行く 「がんになってうれしくて…」

13年 8月 膀胱へ浸潤。骨転移でがん性疼痛

12月 子が入院させたら、死亡 親の心、子知らず

平均的な日本人の文化・人生観・死生観

独居？

94歳 男 前立腺がん、骨転移
脳梗塞(歩行障害、認知症)

15km遠方

難聴

7月 退院 → 笑顔
ボケがなおる

9月

アロマテラピー
ボランティア

9月 嫁 仕事へ。朝3時にトイレ介助
医師 独居のケアシステム

息子 尿道カテーテルは可哀想



うっとり

10月 子が入院させたら、死亡。

親の心、子知らず

平均的な日本人の文化・人生観・死生観

79歳 男 脳出血（左片麻痺）

妻と2人暮らし

14年 病院でリハビリ → 寝たきり。
ボケてきた。

夫 75kg
妻 40kg

15年 在宅医療（緩和ケア）
看護・介護・リハビリ

笑顔

16年 歩ける。ボケが治る。

20年85歳
車イス

20年 子が入所させたら、死亡。

親の心、子知らず



THPの地域包括ケアシステム

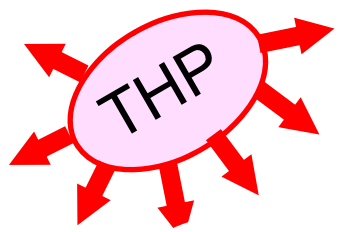
(連携・協働・協調+介入)

(医療・看護・介護・福祉・保健)
トータルヘルスプランナー

病院

退院調整

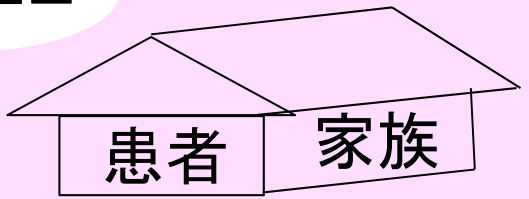
老健
サ高住
小規模多機能
グループホーム
特養



- 内科
- 泌尿器科
- 外科
- 皮膚科
- 眼科
- 耳鼻科
- 麻酔科
- 整形外科
- 精神科
- 脳外科
- 歯科
- 歯科衛生士

専門医

主治医



患者

家族

薬剤師 PT・OT・ST

栄養士

ボランティア等
隣人・民生委員

家政婦
シルバーさん

宗教者
町内会長

介護福祉士・ヘルパー

看護師

ケアマネ

包括支援センター

MSW
保健師

福祉用具
(ベッド・便器)
住宅改修

デイケア
デイサービス
ショートステイ
デイホスピス

市役所
高齡福祉課
介護保険課

THPの介入

① 事前約束指示 …… 医師に介入

疼痛時 ボルタレン(坐)、オプソ、アンペック(坐)

嘔気・嘔吐時 ナウゼリン(坐)

便秘時 レシカルボン(坐)、グリ浣

熱発時 ボルタレン(坐)

けいれん時 エスクレ(坐)、ダイアップ(坐)

不眠時 デパス、ダイアップ(坐)(保険不可)

呼吸苦 モルヒネシロップ(2~3mg)

SPO₂低下時 O₂吸入

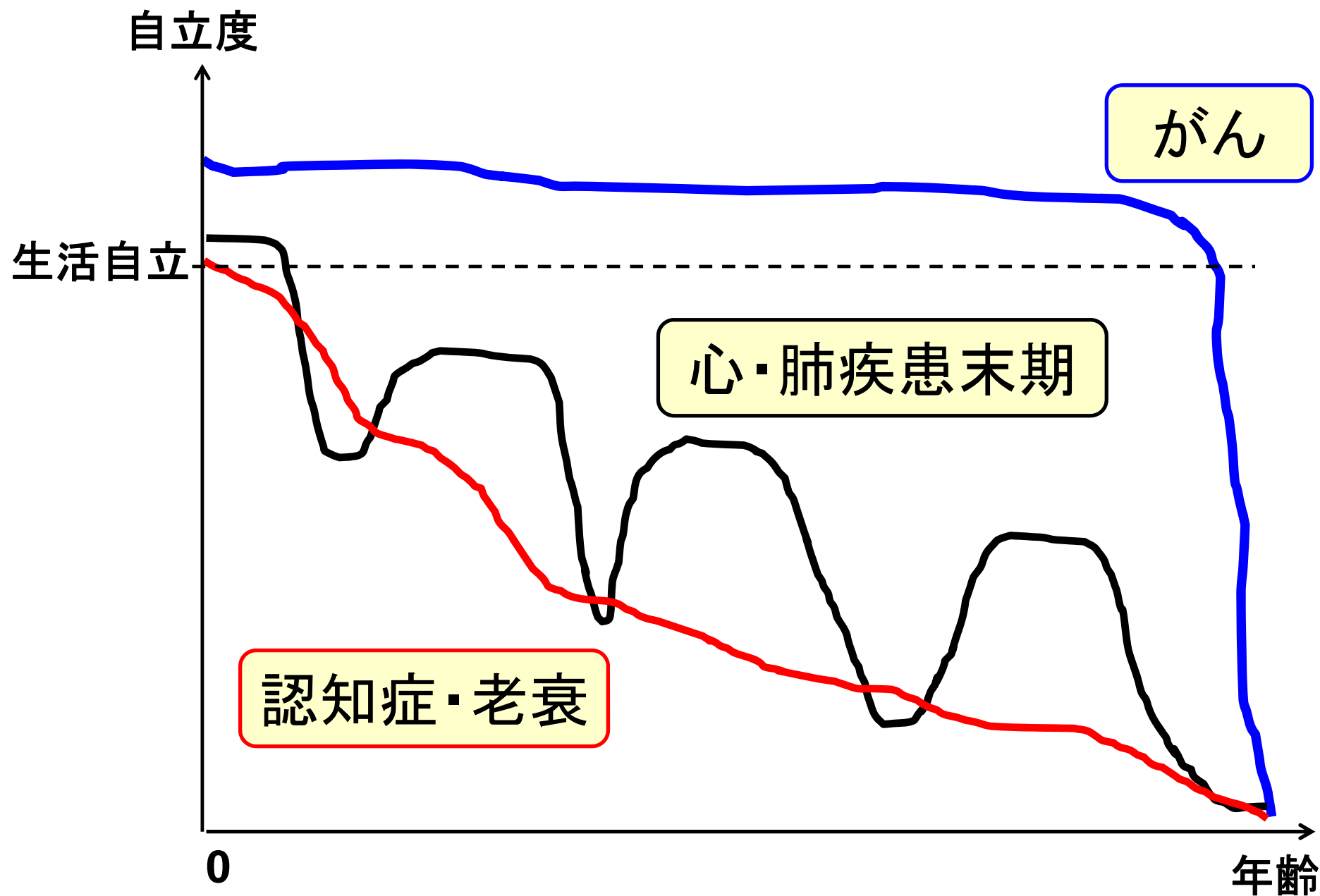
不安時 夜間セデーション(今日の治療指針2012)

独居でもモルヒネの持続皮下注が安心して笑顔になる

② ケアマネジメント …… ケアマネに介入

③ 死の教育 …… 患者・家族などに介入

死に至る疾患別自立度の低下の経緯



ひとり暮らしでも家で死ねるなんて・・・

78歳 卵巣がん

教師

独居

13年 手術・抗がん剤

16年1月

緩和ケア病棟
まだ入りたくない



車イスで
相談外来

2月 在宅緩和ケア 腹水穿刺 週1回

3月 兄死亡。気力・体力低下。
ボランティア・友人が支える。

ひとりで家で死ねるなんて
こんな幸せなことない

遺言

介護保険使わず

4月 友人囲まれ、希望死・満足死・納得死



ノイシュバンスタイン城

マッターホルン

ヨハネホスピス
3階建

59歳 女 胆のうがん、肝転移

11月 閉塞性黄疸 **独居**

2月 肝内胆管ステント

4月4日 **在宅ホスピス緩和ケア**

隣のお嫁さん・僧侶

22日 歩けない → バルーン拒否

3日間 **有償ボランティア**

その後、**家政婦** 12日間

25日 **公証人・弁護士**

27日

↳ **ミュンヘン 遠隔・診療**

5月7日

介護保険使用せず

平成20年4月

隣の
お嫁さん

5月7日
希望死
満足死
納得死



わが人生、最高の笑顔

79歳 肺がん 塵肺

独居

20年6月18日 肺がん。O2吸入。

9月12日 がん性疼痛、呼吸困難で在宅緩和ケア

10月8日 訪問入浴後、
『ビールがうまい』

11月18日 風呂に入れず、
『そろそろ死ぬのかな』

翌日、遺言を言いながら
旅立つ。

生かされている命

9月26日

笑顔



希望死・満足死・納得死

入院はイヤ

独居

生活保護

57歳 下咽頭がん 胃ろう

20年2月 『余命3ヶ月』の父の為、岐阜でアパートを借りる。
3月 突然病院を退院。往診後も栄養2250calに固執。

5月 窒息 ⇨ 栄養750calに減量

9月 夜間セデーション(1週間)

ヘルパー(8、12、14時)

看護師(10、16時)

入院したら ⇨ もうすぐ終わるから

さいなら と手記

一晩 息子が付き添い

希望死
満足死
納得死

癒し犬



ケアマネの気付き

退院当日(8月26日)



NHK

笑顔

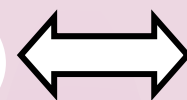
75歳 肺がん 肝転移 **独居**

遠方(約15km)

呼吸苦の為、**在宅緩和ケア**。

9月1日 施設の妻が会いに…
『お前に会う為、家に帰った』

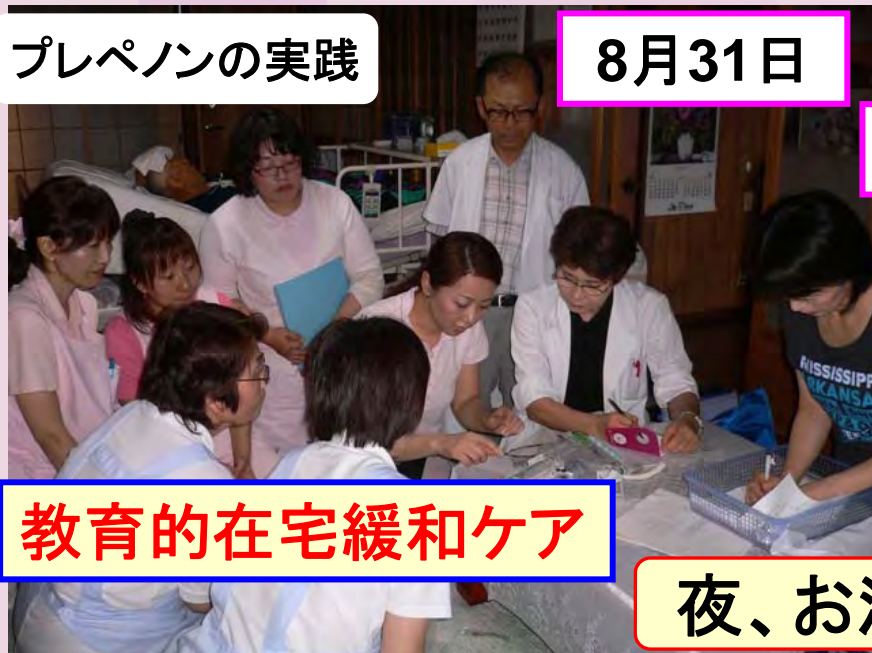
独居でも
家に居たい



独居では
かわいそう

プレペンの実践

8月31日



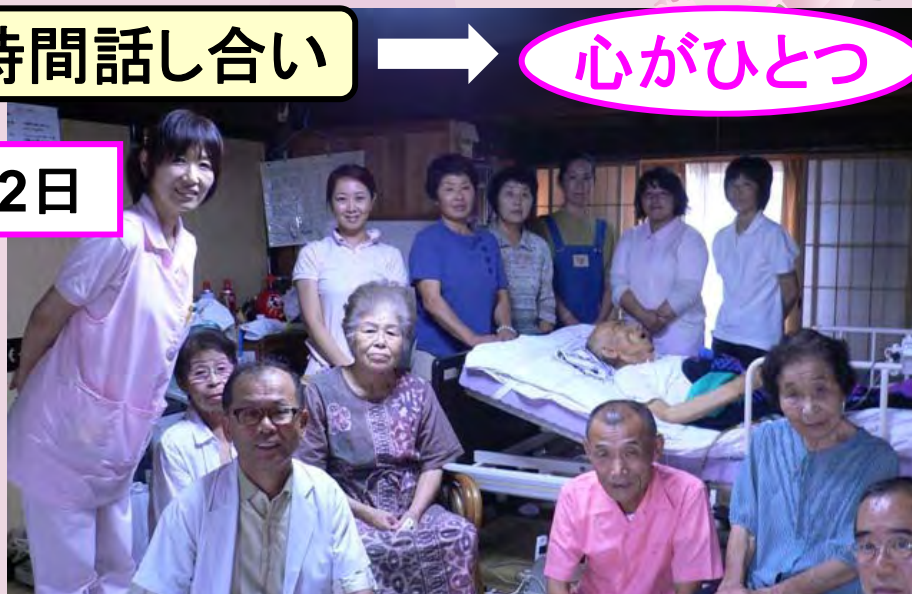
教育的在宅緩和ケア

2時間話し合い



心がひとつ

9月2日



夜、お酒ひと口、**希望死・満足死・納得死**

ケアマネが抵抗勢力

独居

生活保護

10月

73歳 女 咽頭がん、転移性肺がん
10月 『痛い、苦しい』といつも、救急車
病院Nsが **入院より在宅がよい** と説得

がんはよくなったのに
何故 ノドが痛いのか？



10月



12月15日 友人・妹に看取られ、希望死・満足死・納得死

入院したら 酒が飲めない

52歳 男 糖尿病、アルコール性肝障害、
糖尿病性神経障害

独居

10年 HbA1c 14%
インシュリン

21年 起立時
50mmhg
血圧低下

25年 入浴すると、
おぼれそう



笑顔

大酒飲み

死んだら、風呂に入れない。 酒は飲めない。

25年6月 母が来たとき、希望死・満足死・納得死

入所させるなら、木曽川へ飛び込む

独居

82歳 女 認知症 要介護4

17年

家に居たい

戦争未亡人

成年後見人の甥：本人の希望通り



21年

訪問診療 月2回
訪問看護 月1回
24時間対応

訪問介護 日3回
最期の3日間
昼夜で6回



笑顔

最期の1ヶ月

夜間セデーション

お仏壇を向いて
こころの通った
介護職に看取られた

24年 希望死
満足死・納得死

長年の友人と共に

67歳 肺がん 脳転移(認知症状態)

独居

生活保護

遠方10km

21年11月 近医が在宅ケア。友人がお世話。

12月 病態悪化し、THPとチームに加わる。

①在宅緩和ケアで朗らかに

②意思決定→他県の親族に署名

(昼)ヘルパー3回、Ns 1回、友人適宜訪問

(夜)友人:22時 睡眠薬(坐)、深夜1回安否確認

こころ 通じ合う

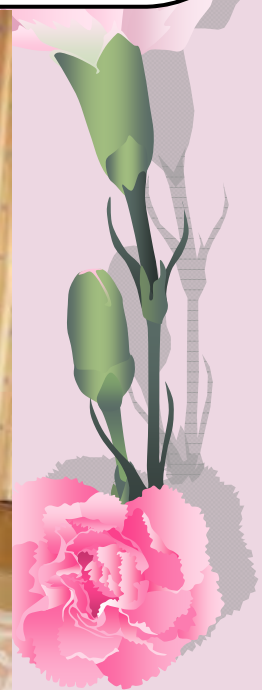


笑顔

旅立ちの翌日



友人(ボランティア)



だまし討ちにあった

85歳 女 高血圧症

独居

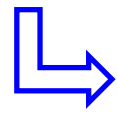
24年 NHK撮影

19年 姉を家で看取る。

24年 間質性肺炎で在宅ケア

25年 弟が死亡 → 認知症

入所拒否



親族に独居でも

希望死・満足死・納得死



26年 痛い。動けない → 介護職が 親族 に電話 → 入所

死亡

4時間前

だまし討ちにあった
あ～死なせて

と、両手を
握りしめる

親族が入所させたら、2日で死亡

無念の最期

処 (ところ) 定まらず

82歳 肺結核後気管支炎

鼻マスク人工呼吸器

独居

生保

18年

『生かされていることに感謝』

『気管切開したり、寝たきりでは、生きたくない』

笑顔

19年

肺炎 → 死ぬかも →

入院はイヤ 楽に死にたい

20年

長屋が壊された

↳ 4km 転居。友達が来ない。

20年

死にたい

もとの処に帰りたい

気力が
落ちる

ボケる

グループホーム
入所

26年 苦しみ、死亡

無念の最期



救急車で入院

88歳 男 悪性リンパ腫 認知症

独居

難聴

筆談

22年8月 在宅緩和ケア

23年1月 腫瘍熱で転倒

2月 抗がん剤中止 → 笑顔

看護師3回、介護職2回、医師1回／週
夜間セデーション



6月 半身麻痺 →

入院しても意味がない

カンファレンスに来なかった息子が救急車 → 手術

9月 人工呼吸器をつけたまま、77日後に死亡。

3日で、家政婦を断る

独居

12月12日

89歳 男 認知症 脳梗塞 喘息

3年 高血圧・糖尿病でかかりつけ医
23年3月 脳梗塞で入院(右麻痺)
4月 施設に入り、4日後呆けて、褥瘡
24年7月 呼吸不全 → 施設(看取り拒否)
本人『家に帰りたい』
娘 『ひとり是不安』
11月 吐血で入院 胃がん



家に帰れて
よかった

26日 帰宅 2年ぶりの 笑顔
家政婦導入

29日 夜間セデーションで安心。
家政婦断る

12月13日 娘が来た時、旅立ち。



12月21日

今が一番幸せ

70歳 子宮平滑筋肉腫

20年 7月 ラグビーボール大の腫瘍を手術 日中独居

21年 7月 プレイレウスで、在宅緩和ケア → 笑顔

9月

イレウスだから入院したい。

人工肛門は意味がない。



10月中旬

満面の笑顔

ありがとう
PCAは命綱

今が一番幸せ

10月末 旅立ち

サンドスタチン

モルヒネ

胃管

PCA

(患者自らが除痛できる装置)

今が一番幸せ

台所の料理の匂いに癒される。かつおぶしの香り。

家族の団らん風景、生活の場だなあ。

今が一番幸せ。天国にいる様だ。

先生が『行ってもいいよ』と言われれば、

このままさよならでもいいけど、

『居てもいいよ』と言われれば、

そりゃあ、まあ、居たいわねえ。

あの世でもこの世でも、どちらでもいい感じ。

ありがとう。一と、手を握る。

ひとりで死にたいの

89歳 女

肝がん、多発性骨転移

25年3月 肝がん、痛い
首つろうと思った

独居

年金 72,466円(1ヶ月)

貯金 50万円(葬式代等)

9月25日 在宅緩和ケア **笑顔**

首つらなくてよかった

がんでよかった

隣人 朝夕 見守り

10月23日 夜間セデーション

訪問介護 1日1回

11月 1日 モルヒネ持続皮下注

11月 5日 **希望死・満足死・納得死**

10月4日



NHK総合
ウィークエンド中部

孫がエンゼルケア

62歳 結腸がん 肝転移

肝性脳症

22年5日 相談外来2時間(10名+NHK1名)

15km遠方

家に帰りたい

いつ死ぬかもしれない

独居



9日
退院

びっくり
元気



孫にべったり

11日 希望死・満足死・納得死



市民10人が見ている前で笑顔

そんな遠い所、無理だよ



涙

日中独居

66歳

肺がん、脳転移

< 愛知県 >

21年 3月23日

『余命1ヶ月』 娘が相談外来へ。

24日

痛い・苦しい・不眠なので退院し、在宅緩和ケア

4月 4日

木曾川へ笑顔で花見。

10日



21日 庭で草むしり



24日 旅立ちの3分後 母の枕元でダブルピース

<長女からのメール>

平成21年8月9日

3034gで無事に女の子が
無事産まれました。
鼻が母にそっくりで、初孫の誕生を
天国で喜んでいると思います。

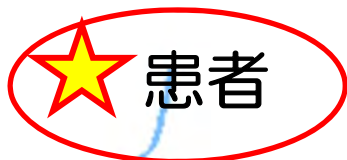


<次女からのメール>

平成22年5月20日

小笠原先生
母のこと
ありがとうございました。
グアムで挙式をしました。





患者



山県市

教育的在宅緩和ケア

在宅医療連携拠点診療所



愛知県

★ 北名古屋市
★ 名古屋市

小笠原内科

教育的在宅緩和ケア

(遠隔診療)

日中独居

ボランティア養成
講座を卒業した
アロマセラピスト

訪問看護師



連携医



5 km

5 km

5 km

薬剤師



1 km

20 km

シルバーさん

介護ベツは
町が補助

医師



訪問看護師

小笠原内科

THP

揖斐川

長良川

木曾川

死にたい → 遠隔診療で笑顔

20km遠方

35歳 女 胃がん、卵巣転移、肺転移、がん性胸・腹膜炎

21年 5月 胃がん・卵巣がん手術、抗がん剤

23年 5月 痛い。不眠。早く死にたい。

→ テレビ電話を使った遠隔診療(教育的在宅緩和ケア)

7月 39.3℃の熱発 → 午後往診しようか？

お顔が見れたし、先生疲れちゃうので、往診はいいよ。

日中独居

連携医

THP

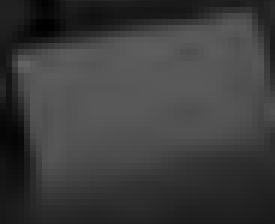
連携Ns

9月

遠隔診療



小笠原内科 遠隔診療の実際



旅立ち5日後

悲しみと満面の笑顔

11月21日

オプソ(5)

1錠

ピーカード(60)

1錠

フェントステープ(8)

1枚

プレペノン

0.1ml/hr



がんが可愛い

日中独居

遠方10km

79歳 乳がん、多発骨転移

7年 乳がんの治療せず

22年4月 痛くて不眠、苦しく動けず

アルブミン1.8g/dl

教育的在宅緩和ケア → 笑顔

22年4月



訪問診療	150回
看護	750回
介護	30回

尿道留置
カテーテル
抜かないで

今が一番幸せ

23年7月



アルブミン	3.9g/dl
パシーフ	360mg
オキシコンチン	120mg
フェントステープ	1mg

24年1月

24年3月 希望死・満足死・納得死

3重苦でも家がいい

独居

難聴

弱視

生保

80歳 女 甲状腺機能低下症 心不全

18年7月 在宅医療

23年3月 痛い。寝たきり ⇨ 入院拒否

6月 CTで骨盤転移

7月 麻薬で痛みが取れ、笑顔

ベット上の生活。



25年10月

25年	ヘルパー	1日3回
	看護師	週2回
	ボランティア	週1回
	医師	月2回

タッチパネル

(ヘルパーステーション)

24時間対応	1,610円/月
緊急出動	580円/回

オムツ 気持ちいい

26年1月 希望死・満足死・納得死

NHK おはよう日本
ワールドニュース
ほっとイブニング岐阜
あさいち

余命1ヶ月。退院したら5日の命

72歳 子宮腫瘍、両側胸水、腹水
縦隔リンパ節腫大 遠方 15km

両側胸水を毎日600ml排液
盲目の息子と2人暮らし

24年1月 20km離れた妹が相談外来
患者 『家に帰りたい』

医師

無理

O₂ 5ℓ/分

2月13日 退院前共同指導



家で死んだら本望ですよ

2月14日 退院



地域連携

笑顔



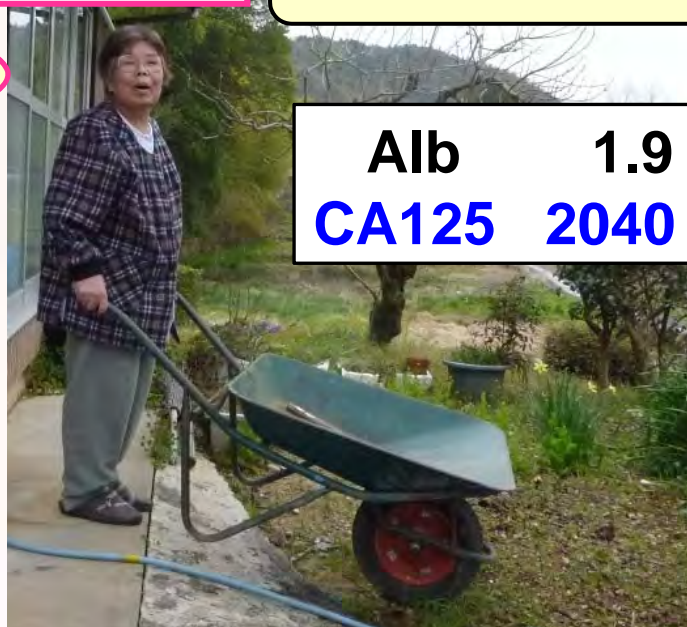
教育的在宅緩和ケア

3月16日

お庭へ出れた



4月13日



Alb 1.9
CA125 2040

笑顔で暮らすと、元気になる

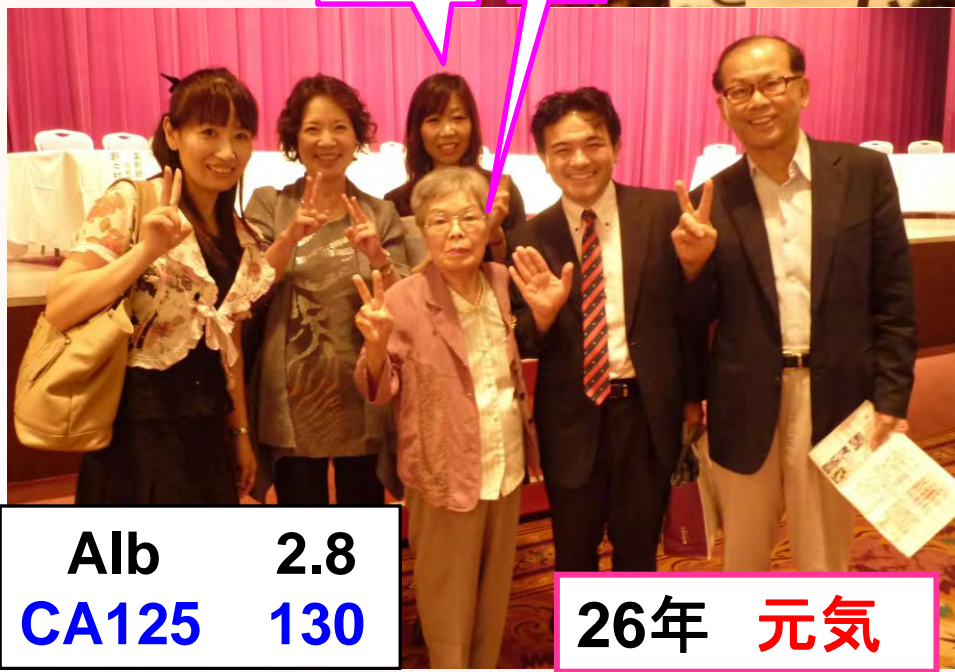
8月18日

官僚も
ビックリ

私が患者です

在宅フオーラ
在宅ホスピス緩和ケアの
素晴らしさ

金華山



Alb 2.8
CA125 130

26年 元気

香典返し

68歳 男 脳出血、昏睡、四肢麻痺
経鼻経管栄養、**気管切開**、人工鼻

24年11月 脳出血術後 意識戻らず。

痰の吸引が2時間おき →

退院したら死ぬよ。

25年 2月 **在宅緩和ケア**

栄養 1500ml → 1000ml
吸痰 12回 → 4~5回
訪問看護 週2回+**24時間対応**
訪問介護 週10回
訪問入浴 週2回
ベッド

利用者負担 月約34,000円

訪問診察(44回) 往診(6回)

初七日

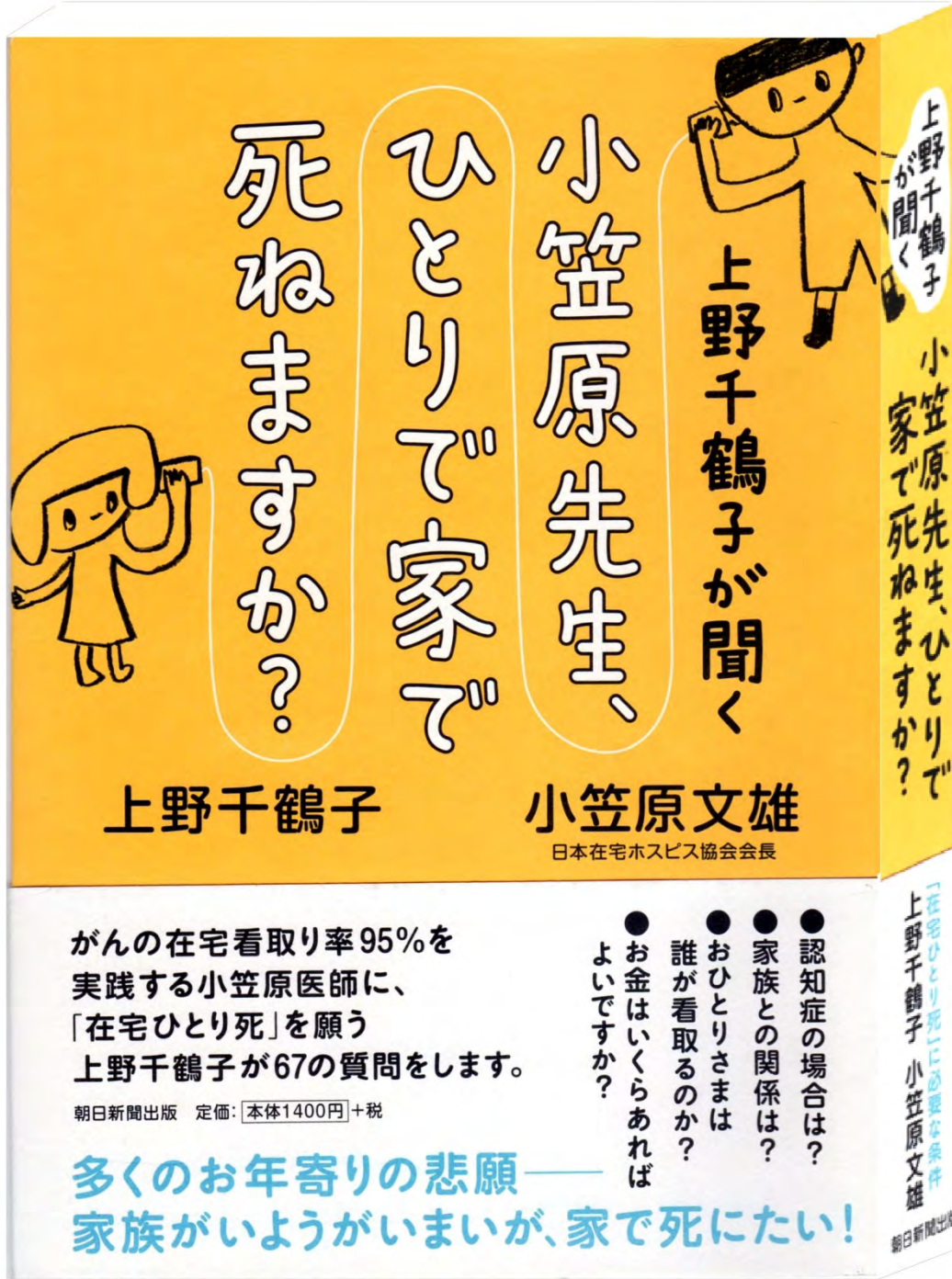


26年1月 **希望死・満足死・納得死**

黄色い本を
香典返し

生き方・死に方を問う

いのちの不思議々々?



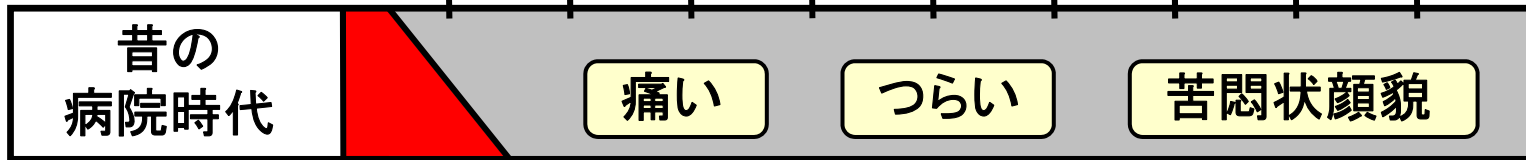
患者・
家族の
ための
本

医療者・
介護者の
ための
本

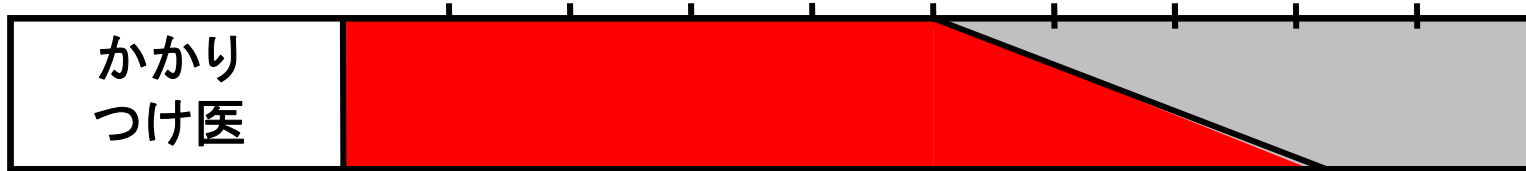
緩和ケアの実態

＜著者が緩和ケアがうまくいったと思っている割合＞

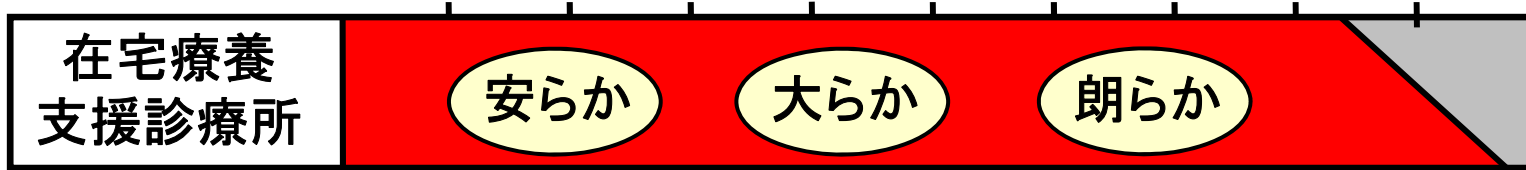
S48年～ 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10割



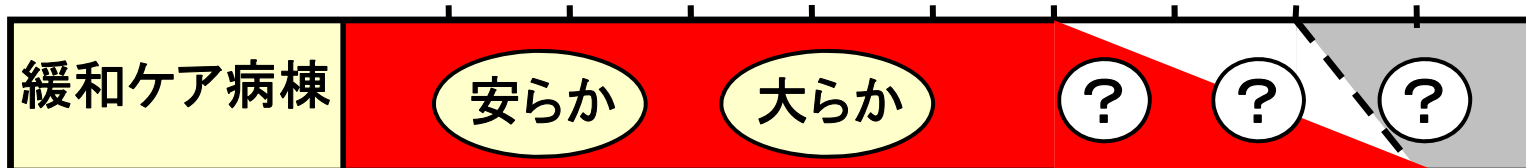
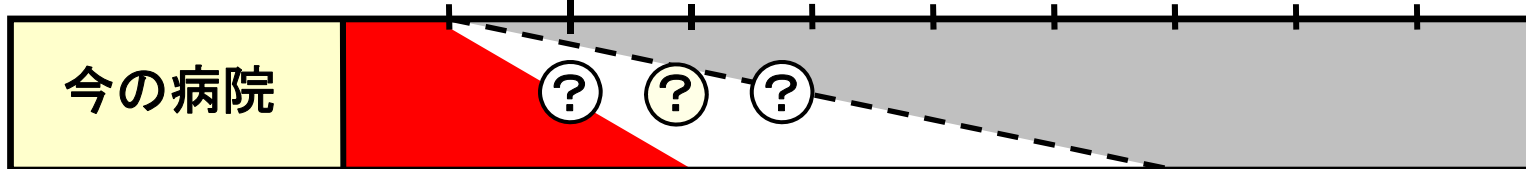
H元年～ 小笠原内科



H18年～ 医師3～4人体制



＜著者が緩和ケアがうまくいっていると推定した割合＞



病人・老人が生活する環境

癒しの
空間

仮想癒しの
空間

ストレス
空間

自由

不自由

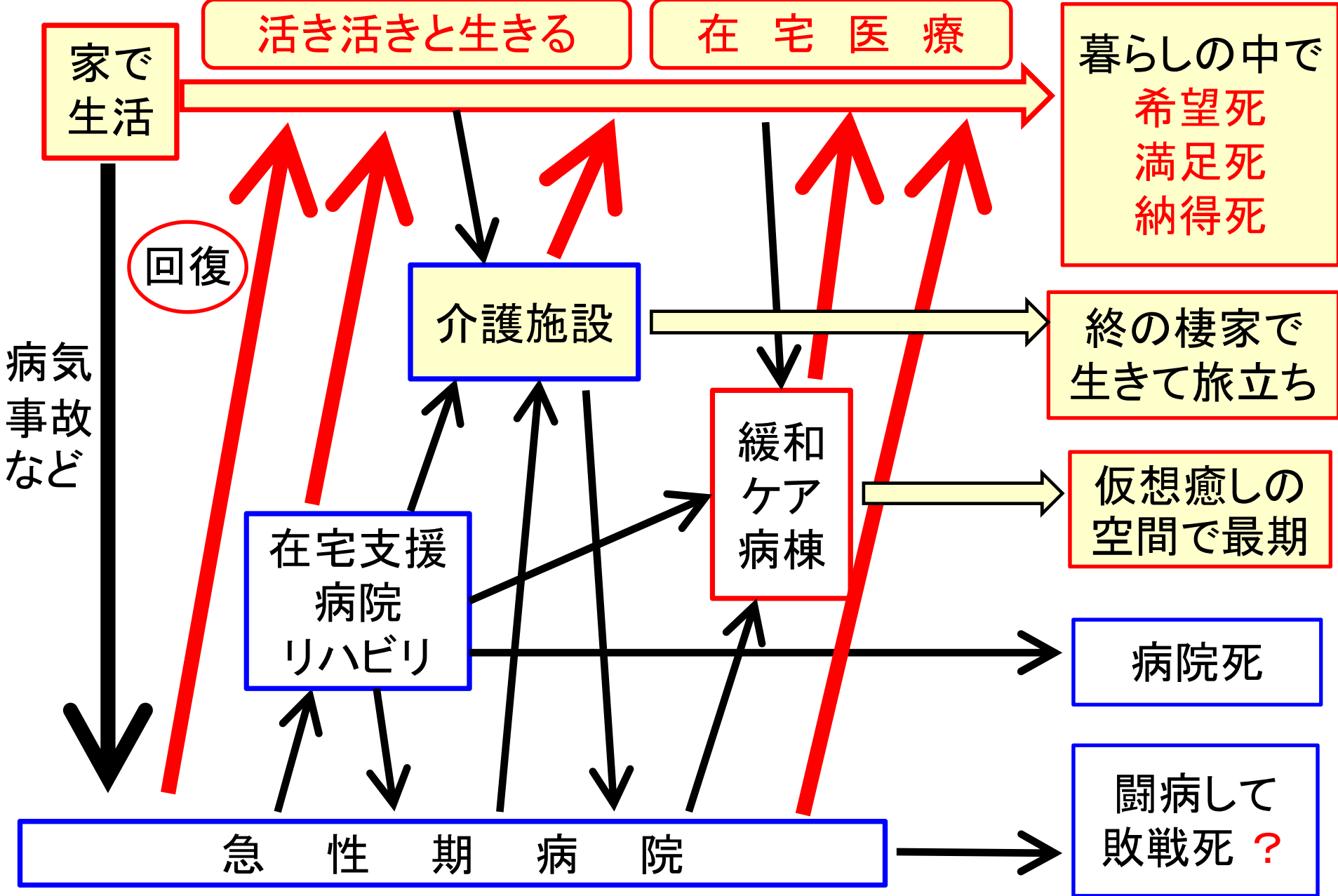
いのち

生き活きと生きる

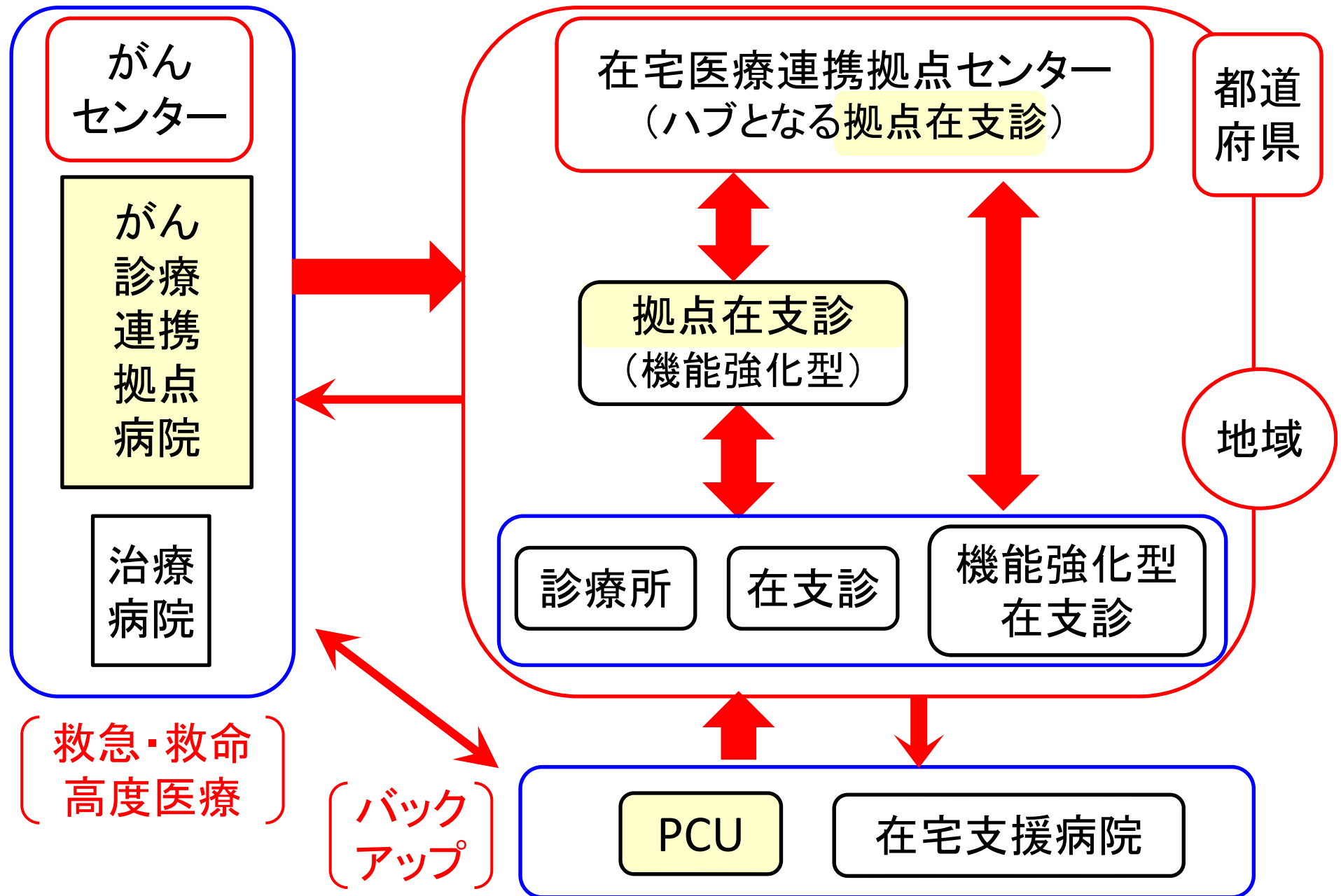
管理

癒しを提供する者は、自ら癒されてなくてはならない

ところ定まれば、こころ定まる。だから穏やかに死ねる。

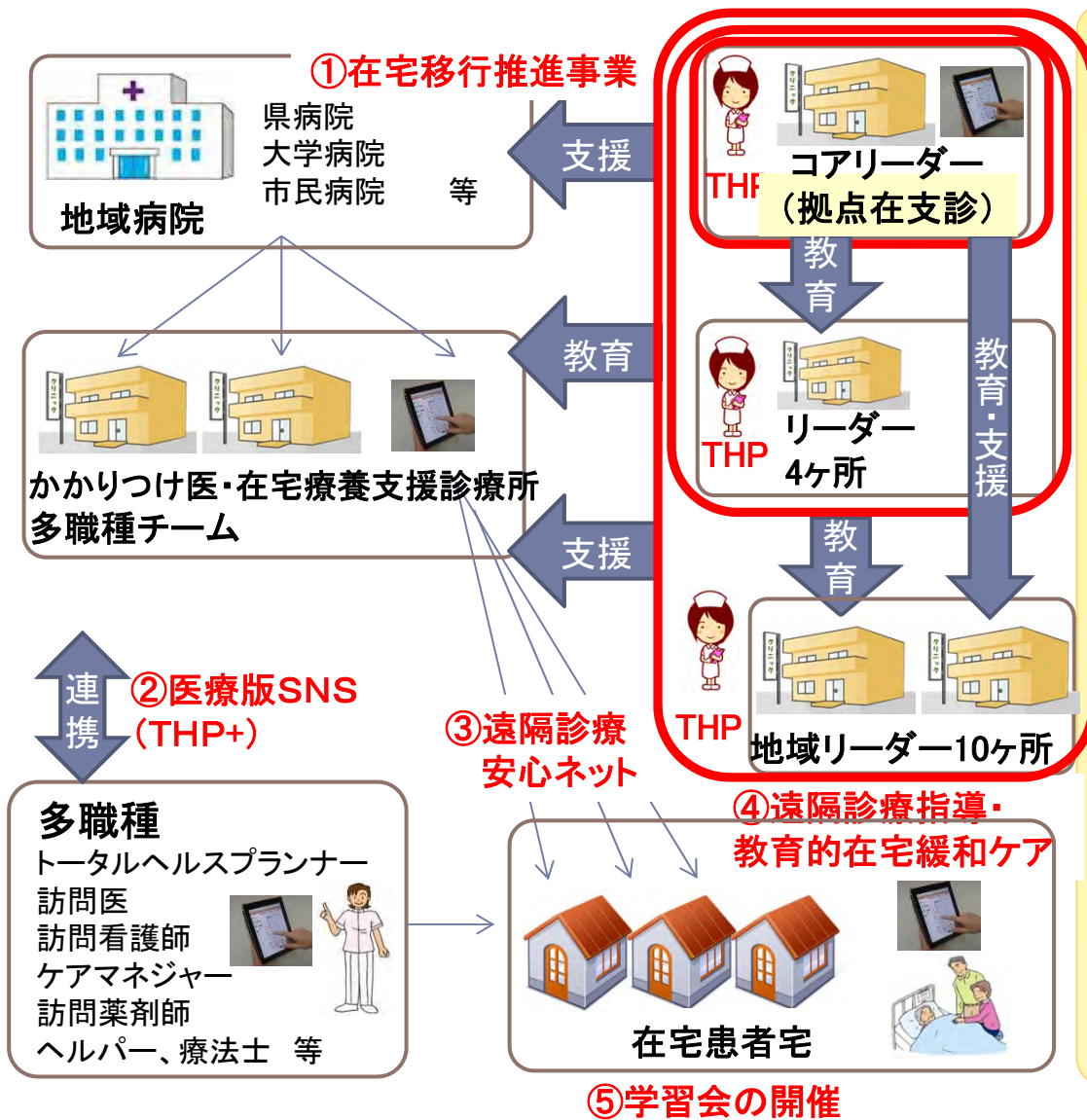


これからの病診連携（地域完結型）



遠隔診療利用型在宅医療モデル事業

平成24年度在宅医療連携拠点事業での実績をもとに、県下全域への展開を図る。これを
 実現するため、病院から在宅移行した患者のワークショップや遠隔医療・安心ネットの実施、
 小笠原内科による遠隔診療指導、教育的在宅緩和ケアなどを実施する。



①病院から在宅移行した患者のワークショップ
 病院退院調整時、患者症状等を考慮し受け入れ可能なかかりつけ医の選定等について助言するなど、在宅への受け入れ支援を行う。

②医療版SNS (THP+)
 患者を中心とした医療従事者の持つ情報(患者状態、写真等)をリアルタイムに共有し、チーム医療を実現する医療版SNS (THP+)の導入を行う。セキュリティはSSLによる暗号化で外部からの侵入を防いでいる。

③遠隔診療・安心ネット
 過疎地など遠方の患者に対し、スマートフォン、iPadなどの携帯端末を使用し情報共有や遠隔診療を実施し、安心ネットを構築する。

④遠隔診療指導・教育的在宅緩和ケア
 在宅で経験が少ないかかりつけ医・在宅療養支援診療所、訪問看護ステーションに対し、スマートフォン、iPadなどの携帯端末を使用し遠隔診療指導を実施する。同じ患者に同時に関わることで実践教育及び1人医師に対する後方支援、THPの育成を行う。

⑤学習会の開催
 上記を実現するため学習会などを実施。

表1 教育的在宅緩和ケア前後の変化

医院	在宅看取り数(人)						在宅看取り率	
	全疾患		がん				がん	
	前	後	前		後		前	後
	在宅死	在宅死	在宅死	入院死	在宅死	入院死		
A 26ヶ月	11	22	11	14	20	9	44	69
B 20ヶ月	53	62	26	6	23	1	81	96
C 16ヶ月	9	15	5	3	9	1	63	90
D 12ヶ月	11	13	5	2	5	1	71	83
E 12ヶ月	0	4	0	2	3	0	0	100
F 17ヶ月	3	7	1	5	2	6	20	25
F 14ヶ月	6	4	3	2	2	0	60	100
計	93	127	51	34	64	18	60 %	78 %

※26ヶ月とは、前後 26ヶ月のデータである。

教育

受動学習

- ・体系づけて教える
- ・個人の基礎体力をつける

能動学習

- ・個性を伸ばす
- ・成功体験をさせる

在宅医療の

スキルアップ効果 10%

講義

読み物

20%

AV教材

30%

病診連携

デスカンファランス

40%

グループディスカッション

50%

往診同行

70%

教育的
在宅緩和ケア
(サポート体制)

副主治医

80%

主治医

90%

指導側

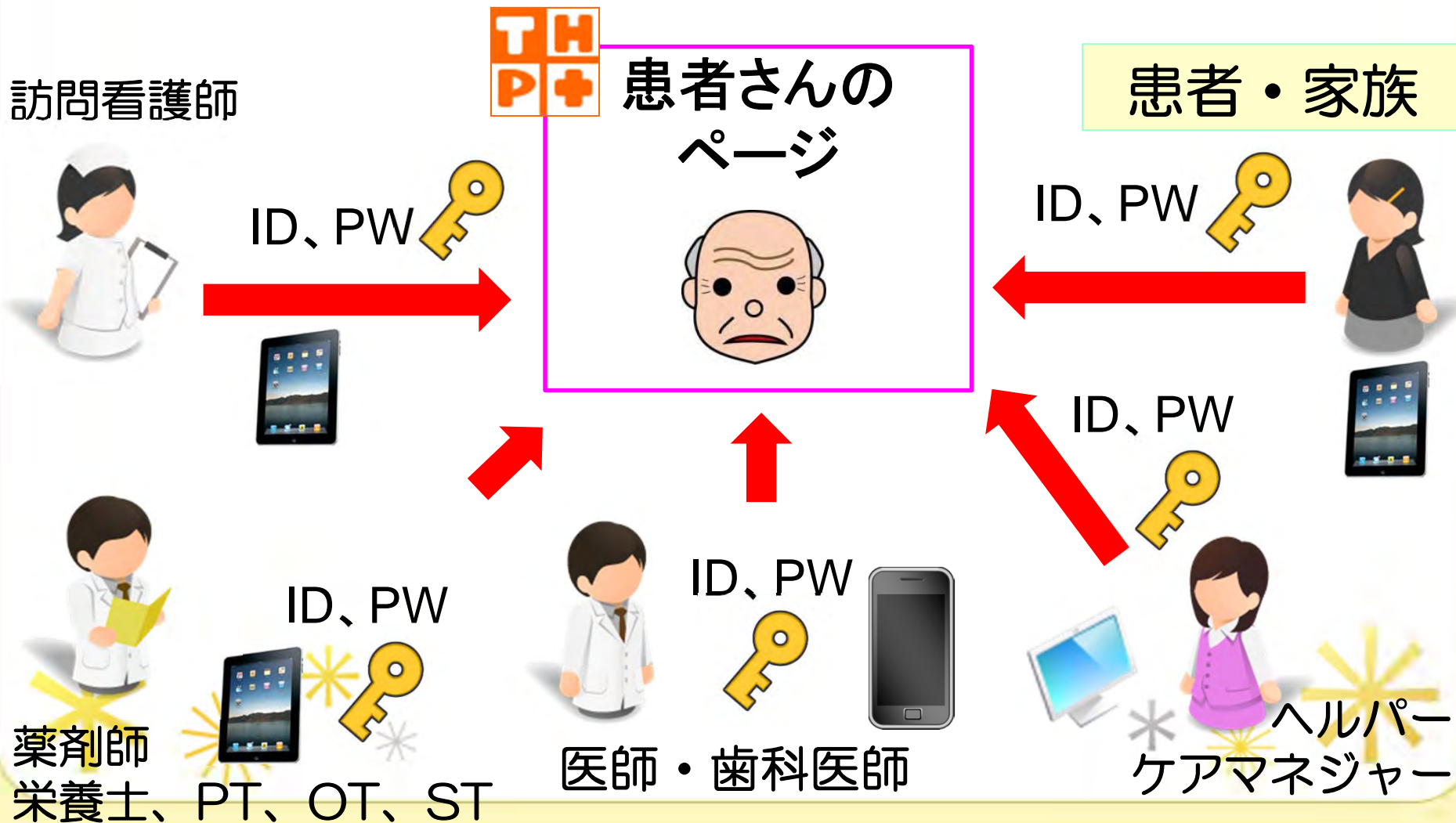
100%



24年

THP+

それぞれの職種がID、PWを使って患者さんのページを見ます。スマホ、iPad、PCのいずれでも操作可能です。アプリで便利。



結語

遠隔診療を利用しながら、

THPのケアシステムの中で

THP+で情報共有すると

教育的在宅緩和ケアもやりやすく、

簡単に看取りまで支えられる。

岐阜で実践している

遠隔診療利用型在宅医療モデル事業

が日本を救う。？